

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年2月25日 (2016.2.25)

【公表番号】特表2014-518201(P2014-518201A)

【公表日】平成26年7月28日 (2014.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2014-040

【出願番号】特願2014-513685(P2014-513685)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/48 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/32

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年1月7日 (2016.1.7)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 9】

本発明は、複数のカプセルを含む組成物であって、カプセルが、1 種以上の高極性液体；1 種以上の高極性液体に溶解または分散された 1 種以上の極性活性物質；1 種以上のポリマーと 1 種以上の高極性液体の混合物；または 1 種以上のポリマーと 1 種以上の高極性液体と 1 種以上の極性活性物質の混合物のコアと、ポリマーマトリックス中の粒子を含むかまたは粒子を含むシェルを含み、1 種以上のポリマーがコア、シェルまたはそれらの両方の中に位置してよいことを条件として、シェルの厚さが、高極性液体もしくは活性物質がシェルを通過するのを妨げるのにまたは高極性液体もしくは活性物質がシェルを通過する速度を調節するのに十分なものである、複数のカプセルを含む組成物である。好ましくは、カプセルの直径は、所望の用途に応じて活性配合剤をカプセル化するのに好適なサイズを有する。コアは、1 種以上の高極性液体中に溶解または分散された 1 種以上の高極性液体、あるいは、1 種以上の高極性液体中に溶解または分散された 1 種以上の極性活性物質を含むことができ、シェルはポリマーマトリックス中に粒子を含む。コアが 1 種以上のポリマーと 1 種以上の高極性液体との混合物、または 1 種以上のポリマーと 1 種以上の高極性液体と 1 種以上の極性活性物質との混合物を含む実施形態では、シェルは粒子を含むことができる。コアは、1 種以上の高極性液体を含むことができる。コアは、1 種以上の高極性液体中に溶解または分散された 1 種以上の活性物質を含むことができる。好ましくは、粒子は固体粒子であって、非極性液体中の高極性液体のエマルジョンまたはサスペンションの界面へのそれらの移行を促進する表面エネルギーを有する固体粒子である。カプセルは、約 50 ナノメートル以上のサイズを示すことができる、カプセルは、約 500, 000 ナノメートル以下のサイズを示すことができる。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

第 2 の極性液体中に溶解または分散した第 1 の極性液体を含むコア；
ポリマーマトリックス中の粒子を含むかまたは粒子を含むシェル；および
少なくとも 1 種の界面重合またはアニオン重合ポリマー、ここで、前記少なくとも 1 種の界面重合またはアニオン重合ポリマーは、前記シェルとコアの一方または両方の中に存在する；
を含み、前記シェルは、前記第 1 および第 2 の極性液体が前記シェルを通過するのを妨げるようにまたは前記第 1 および第 2 の極性液体が前記シェルを通過する速度を調節するように構成されている、カプセル。

【請求項 2】

前記カプセルが界面活性剤を含まない、請求項 1 に記載のカプセル。

【請求項 3】

a) 非極性相中の粒子の分散体を極性相に接触させる工程、ここで、前記粒子は、非極性相中の極性相のエマルジョンまたはサスペンションの界面への移行を促進する表面エネルギーを有し、前記極性相は、第 2 の極性材料中に溶解または分散した第 1 の極性材料を含む；

b) 接触した両相を乳化させて非極性相中の極性相のエマルジョンまたはサスペンションを形成する工程、ここで、極性相の離散液滴が形成され、極性相の前記液滴の表面上に前記粒子の一部を有する；および

c) 前記極性相の前記液滴の周りにポリマーシェルを形成するために界面重合またはアニオン重合によりポリマーを形成する工程、ここで、前記ポリマーシェルは、前記粒子の一部を含み、前記第 1 の極性材料と第 2 の極性材料の混合物は前記コア中に存在する；を含む方法。

【請求項 4】

前記ポリマーシェルが前記粒子の一部を含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 1 の極性材料が、1 種以上の活性物質、ポリマー形成成分、またはそれらの混合物を含む、請求項 3 または 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 1 の極性材料が極性ポリマー形成成分を含み、前記ポリマーが非極性ポリマー形成成分と極性ポリマー形成成分から調製され、前記極性ポリマー形成成分が前記第 2 の極性材料中に溶解または分散され、前記非極性ポリマー形成成分が非極性成分を介して導入される、請求項 3 または 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記非極性ポリマー形成成分が 1 種以上のポリイソシアネートを含み、前記極性ポリマー形成成分が 1 個より多くのイソシアネート反応性基を含む 1 種以上の成分を含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記ポリマーがシアノアクリレートを含むモノマーから形成される請求項 3 に記載の方法。

【請求項 9】

前記方法が界面活性剤の不在下で実施される、請求項 3 ～ 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

前記粒子が、非極性液体中の極性液体のエマルジョンまたはサスペンションの界面への移行を促進する表面エネルギーを有する固体粒子である、請求項 3 ～ 9 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 11】

前記第 2 の極性液体が、水、メタノール、グリセロール、エチレングリコール、ジメチ

ルホルムアミドおよびジメチルスルホキシドから選ばれる、請求項 1 または 2 に記載のカプセル。

【請求項 1 2】

前記第 2 の極性液体が水及びアルコールから選ばれる、請求項 1 または 2 に記載のカプセル。

【請求項 1 3】

前記第 2 の極性材料が、水、メタノール、グリセロール、エチレングリコール、ジメチルホルムアミドおよびジメチルスルホキシドから選ばれる、請求項 3 ～ 10 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 1 4】

前記第 2 の極性材料が水及びアルコールから選ばれる、請求項 3 ～ 10 のいずれか一項に記載の方法。